

新たな歴史に向かって

鳳エリア建替え運動の道 ⑨

医療と介護の架け橋となれるよう
これからも役割を果たしたい

鳳在宅介護支援センターは、1994年（平成6年）に開設しました。



約15年ほど前…このころより人数も増えて、現在は14人となっています

大阪民医連の中では唯一の在宅介護支援センターとして機能し、介護保険

制度施行の2000年（平成12年）以降は、ケアプランセンターを併設して業務を行ってまい

センターに移行されたため、無報酬の業務となりました。その後も規模は小さくなりつつも、その機能を持つ事業所として活動しています。

現在は、老健みみはら内に事務所があり、介護施設との連携を密にし、相談に応じています。鳳クリニックの建替え後には、事務所を移転し、在宅サービス（訪問診療や訪問看護、訪問介護）と同じフロアで業務を行うことにより、さらに医療と介護の架け橋となれるように、これからも役割を果たしていければと思います。

2012年（平成24年）から堺市では、在宅介護支援センターの業務が21の地域包括支援

初めての取り組みのため、どのような声があるかとの不安もありましたが、雲一つない青空の下、会員さんの丁寧な指

体験学習

友の会 南花田支部・新金岡支部の
メリアガーデンで
芋掘り体験



10月2日、1〜3年目の事務職員を対象に、病

院・診療所から一歩外に出て、友の会の取り組みや地域を幅広く知ることが目的として、体験学習を行いました。

健康友の会みみはらの新金岡支部、南花田支部のみなさんが取り組まれている農園「メリアガーデン」にお邪魔し、芋掘りを体験しました。計画段階から準備など会員さんにお世話になりました。



導で、鎌やハサミ、耕運機を手にして実際に草刈りやサツマイモの収穫などにチャレンジし、とても明るい雰囲気でお交流することができました。初めてづくしの体験に目を丸くする職員もいれば、地元で手伝っていますから！と清々しい顔で率先して取り組む職員もいました。地域での学びはもちろんですが、職場から一歩外に出たときに、仲間たちの普段見せない、いろいろな一面を知ることができたのも大きな収穫でした。

1000人以上が来場

耳原鳳健康まつり
盛況に開催



現在の鳳クリニックの駐車場で行う。最後の鳳健康まつりは、秋晴れのもと、1000人以上の来場で盛況に開催されました。

4年ぶりに洋食焼き、ちらし寿司、フランクフルト、水餃子、スイーツなど食べ物模擬店が並び、お餅つきには長い列が伸びました。野菜や果物の袋を下げて回られる方も多く、人気が高い

野菜は早くから売り切れ。少し風が吹く時間帯もあったため、あたたかいコーヒーが喜ばれていました。古本、古着物や色とりどりの手づくり小物のお店に足を止める人、くじ引き、ヨーヨー釣りやめだか販売の人だかり、近畿大学文化デザイン学科のサークルメンバーによるハロウィン仮装のワークショップには子どもたちのうれしそうな笑



顔がありました。中央ステージは6台の

大太鼓が響き渡るオーブニングのあと、愛らしい掛け声の保育園児の演奏、客席と一緒に演奏の健康体操と続きました。初出演のアリオ鳳のチアダンスチームが笑顔いっぱい息の合ったダンスを披露し、鬼滅の刃コスプレイヤーによる激し

いダンスパフォーマンスが繰り広げられると拍手が起こり最高潮に。中休みを挟んで、力強いよさこいソーランと華やかなフラダンス、ファンが多い沖縄民謡がラストを飾りました。

最後に田端志郎所長から鳳エリア建替え計画の概要が話され、この駐車場に新たな建物が出来上がった姿を想像しました。建設協同基金への協力力が強く呼びかけられた後、お楽しみ抽選会でもうひと盛り上がり。楽しい健康まつりとなりました。ご来場の皆さん、ご協力いただいた実行委員の皆さん、ありがとうございました。これからも地域と共に歩みを進めていきます。

理事会報告

10月理事会（概要）

開催日時：

10月26日（木）

午後6時〜

8時8分

出席：理事 22名

監事 3名

〈主な内容〉

◆報告

- ・ 拡大常任理事会、各種委員会概要
- ・ 健康友の会みみはら、社保・平和のとりくみ

◆協議確認事項

- ・ 医師以外の諸手当規程改定について承認
- ・ 医療機器の購入について承認

- ・ 無料低額診療の各事業所実績
- ・ 2023年9月度決算概要
- ・ 2023年度上半期
- ・ 2023年度上半期
- ・ 決算概要
- ・ みみはら2030年の樹の進捗
- ・ 理事、監事、評議員研修会開催